



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月14日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名
 コード番号 6134 URL <https://www.fuji.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部长 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	95,778	9.6	17,785	11.1	18,363	9.4	13,309	5.3
2018年3月期第3四半期	87,360	37.7	16,005	130.4	16,778	126.8	12,643	138.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 9,421百万円 (△47.8%) 2018年3月期第3四半期 18,049百万円 (116.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	145.70	138.17
2018年3月期第3四半期	141.35	131.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	188,141	156,722	83.2
2018年3月期	183,037	151,412	82.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 156,530百万円 2018年3月期 151,203百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2019年3月期	-	25.00	-	-	-
2019年3月期 (予想)	-	-	-	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

2019年3月期 (予想) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	3.3	21,400	△6.3	22,000	△6.5	15,800	△9.8	172.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	97,823,748株	2018年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	6,478,394株	2018年3月期	6,477,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	91,345,592株	2018年3月期3Q	89,450,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、2019年2月18日に当社ホームページに掲載いたします。

（日付の表示方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域に関する情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きが見られ、設備投資は堅調に推移しました。世界経済は、中国では米中貿易摩擦の激化等により景気の減速基調が続いた一方、欧州では緩やかな景気回復が持続しました。北米では雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は堅調に推移し、製造業の設備投資も底堅く推移しました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を！』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術で未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。主力の電子部品実装ロボットやロボット搬送システムを駆使した工作機械の分野で独創的な製品のタイムリーな市場投入に取り組み、またグループ会社間の連携及び代理店網の拡充による国内外の販売・技術サポート体制の強化やトータルソリューションの推進により継続的なマーケットシェアの拡大に努めるとともに、I o Tを活用した生産による徹底したQ C D (品質・コスト・納期) の追求に取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は95,778百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて8,418百万円(9.6%)増加しました。営業利益は17,785百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて1,780百万円(11.1%)増加し、経常利益は18,363百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて1,584百万円(9.4%)増加しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間と比べて665百万円(5.3%)増加し、13,309百万円となりました。

なお、当社は、2018年8月31日付で、半導体製造装置の製造販売を主業務とするファスフォードテクノロジー株式会社(以下「F F T」といいます。)の株式を取得し、子会社としました。(F F Tにつきましては、第2四半期は貸借対照表のみを連結しており、当第3四半期より損益計算書も連結しております。)

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1) ロボットソリューション

中国市場において顧客の設備投資に慎重な姿勢が見られたものの、台湾・インド等のアジア市場において通信機器関連やインフラ関連を中心とする設備需要がありました。また、サーバー、車載関連、産業用機器向け需要も堅調に推移しました。この結果、売上高は83,875百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて7,382百万円(9.7%)増加しました。また、営業利益は19,719百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて1,458百万円(8.0%)増加しました。

2) マシンツール

日本国内、中国及び東南アジア市場においては、自動車関連向けを中心に、底堅く継続的な需要がありました。この結果、売上高は10,311百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて986百万円(10.6%)増加しました。また、営業利益は841百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて536百万円(175.8%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間より F F T の貸借対照表を連結したことに伴い、資産・負債が増加しております。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は110,838百万円となり、前連結会計年度末と比べて13,141百万円減少しました。たな卸資産が11,654百万円、受取手形及び売掛金が4,737百万円増加しましたが、これは生産増や売上増加の他に、F F T の貸借対照表を連結したことによるものであります。一方、F F T の株式取得による支出等により現金及び預金が29,621百万円減少したことにより、流動資産は全体としては減少しました。固定資産は77,302百万円となり、前連結会計年度末から18,244百万円増加しました。これは主に株価下落により投資有価証券が6,354百万円減少した一方で、豊田工場拡張工事等による有形固定資産5,093百万円増加のほか、F F T の株式取得により、のれんが14,033百万円、顧客関連・技術等の無形資産（無形固定資産のその他に含みます）が5,661百万円増加したこと等によるものであります。（なお、のれんの金額は、第2四半期連結会計期間末においては暫定的に算定された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、確定しております。）

以上の結果、資産合計は、188,141百万円となり、前連結会計年度末から5,103百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は21,980百万円となり、前連結会計年度末と比べて159百万円減少しました。これは主に設備関係支払手形（流動負債のその他に含みます）が1,394百万円増加した一方、未払法人税等が3,825百万円減少したこと等によるものであります。また、支払手形及び買掛金が1,815百万円増加しましたが、主にF F T の貸借対照表を連結したことによるものであります。固定負債は9,438百万円となり、前連結会計年度末と比べて47百万円減少しました。これは主に繰延税金負債（固定負債のその他に含みます）が193百万円増加した一方、退職給付に係る負債が260百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、31,418百万円となり、前連結会計年度末と比べて206百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は156,722百万円となり、前連結会計年度末から5,309百万円増加しました。これは主に配当金の支払により利益剰余金が4,110百万円、投資有価証券の株価下落によりその他有価証券評価差額金が4,372百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が13,309百万円増加したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態につきましては遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて30,658百万円減少し28,265百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等の収入があった一方、法人税等の支払額やたな卸資産、売上債権等の増加による支出があったことから、1,789百万円の収入（前年同四半期：7,366百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは28,767百万円の支出（前年同四半期：3,965百万円の支出）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社（F F T）株式の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4,041百万円の支出（前年同四半期：3,113百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,767	28,146
受取手形及び売掛金	28,919	33,657
有価証券	4,438	4,321
商品及び製品	7,063	9,908
仕掛品	15,153	21,331
原材料及び貯蔵品	6,128	8,760
その他	4,540	4,736
貸倒引当金	△32	△22
流動資産合計	123,979	110,838
固定資産		
有形固定資産	18,944	24,037
無形固定資産		
のれん	—	14,033
その他	6,330	11,833
無形固定資産合計	6,330	25,867
投資その他の資産		
投資有価証券	32,572	26,218
その他	1,209	1,179
投資その他の資産合計	33,782	27,397
固定資産合計	59,057	77,302
資産合計	183,037	188,141
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,535	8,350
未払法人税等	5,188	1,362
製品保証引当金	1,109	1,122
その他	9,306	11,143
流動負債合計	22,139	21,980
固定負債		
社債	7,241	7,236
退職給付に係る負債	766	506
その他	1,477	1,696
固定負債合計	9,485	9,438
負債合計	31,625	31,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,924	5,924
利益剰余金	134,183	143,382
自己株式	△7,779	△7,780
株主資本合計	138,207	147,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,688	7,315
繰延ヘッジ損益	—	10
為替換算調整勘定	1,343	1,807
退職給付に係る調整累計額	△35	△8
その他の包括利益累計額合計	12,995	9,124
非支配株主持分	208	192
純資産合計	151,412	156,722
負債純資産合計	183,037	188,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2017年 4 月 1 日 至 2017年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 12 月 31 日)
売上高	87,360	95,778
売上原価	51,175	56,326
売上総利益	36,185	39,452
販売費及び一般管理費	20,179	21,666
営業利益	16,005	17,785
営業外収益		
受取利息	159	202
受取配当金	359	421
為替差益	236	3
雑収入	79	154
営業外収益合計	835	782
営業外費用		
支払利息	△4	1
支払手数料	62	176
雑支出	4	27
営業外費用合計	62	205
経常利益	16,778	18,363
特別利益		
固定資産処分益	50	26
投資有価証券売却益	1,370	43
特別利益合計	1,421	70
特別損失		
固定資産処分損	308	61
訴訟和解金	398	—
特別損失合計	706	61
税金等調整前四半期純利益	17,492	18,371
法人税、住民税及び事業税	4,566	4,800
法人税等調整額	263	239
法人税等合計	4,830	5,040
四半期純利益	12,662	13,331
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,643	13,309

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	12,662	13,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,728	△4,372
繰延ヘッジ損益	—	10
為替換算調整勘定	720	425
退職給付に係る調整額	△62	26
その他の包括利益合計	5,386	△3,909
四半期包括利益	18,049	9,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,031	9,438
非支配株主に係る四半期包括利益	18	△16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,492	18,371
減価償却費	3,817	4,381
のれん償却額	—	237
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△199	△362
受取利息及び受取配当金	△518	△624
支払利息	△4	1
固定資産処分損益 (△は益)	257	35
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,370	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,847	△1,732
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,076	△9,815
仕入債務の増減額 (△は減少)	131	2
未収消費税等の増減額 (△は増加)	99	△79
その他	1,356	△685
小計	10,138	9,685
利息及び配当金の受取額	520	626
利息の支払額	△2	△6
法人税等の支払額	△3,288	△8,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,366	1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,600	△700
有価証券の償還による収入	—	1,200
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,272	△6,577
有形及び無形固定資産の売却による収入	94	53
投資有価証券の取得による支出	△199	△1,018
投資有価証券の売却による収入	2,371	23
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△21,716
定期預金の預入による支出	△48	△54
定期預金の払戻による収入	1,745	34
その他	△56	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,965	△28,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33	—
配当金の支払額	△3,078	△4,040
自己株式の取得による支出	△2	△1
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,113	△4,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	464	361
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	752	△30,658
現金及び現金同等物の期首残高	55,358	58,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,111	28,265

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(特定子会社以外の子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、ファスフォードテクノロジー株式会社の株式を取得し子会社としたため、同社を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	76,492	9,324	85,817	1,542	87,360
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	1	7	6	14
計	76,498	9,326	85,824	1,549	87,374
セグメント利益又は損失(△)	18,260	305	18,565	△207	18,358

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,565
その他の区分の利益又は損失(△)	△207
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△2,361
四半期連結損益計算書の営業利益	16,005

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,875	10,311	94,186	1,592	95,778
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	1	33	3	36
計	83,906	10,312	94,219	1,596	95,815
セグメント利益又は損失(△)	19,719	841	20,560	△46	20,513

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	20,560
その他の区分の利益又は損失(△)	△46
セグメント間取引消去	3
全社費用 (注)	△2,731
四半期連結損益計算書の営業利益	17,785

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	75,345	86.1	76,492	87.5	15,040	62.4
マシンツール	10,398	11.9	9,324	10.7	8,727	36.2
その他	1,729	2.0	1,542	1.8	323	1.4
合計	87,473	100.0	87,360	100.0	24,091	100.0

当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	81,356	85.0	83,875	87.6	※22,100	64.7
マシンツール	12,899	13.5	10,311	10.8	11,833	34.7
その他	1,473	1.5	1,592	1.6	204	0.6
合計	95,730	100.0	95,778	100.0	※34,137	100.0

(※) 第2四半期連結会計期間より連結子会社としたファスフォードテクノロジー株式会社の連結開始時の受注残が含まれております。

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	105,733	85.6	104,002	86.6	17,918	65.2
マシンツール	15,388	12.4	13,798	11.5	9,244	33.6
その他	2,417	2.0	2,231	1.9	322	1.2
合計	123,539	100.0	120,032	100.0	27,485	100.0

(2) 地域に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	12,919	39,206	9,329	10,152	5,402	9,489	860	87,360
構成比(%)	14.8	44.9	10.7	11.6	6.2	10.8	1.0	100.0

当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	10,936	39,132	18,643	10,786	4,581	10,631	1,068	95,778
構成比(%)	11.4	40.8	19.5	11.3	4.8	11.1	1.1	100.0

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	19,515	53,482	12,272	13,487	6,290	13,462	1,520	120,032
構成比(%)	16.3	44.6	10.2	11.2	5.2	11.2	1.3	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2019年3月期 第3四半期決算発表

2019年2月14日
株式会社 F U J I
(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の通期予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	124,000	3.3	21,400	△6.3	22,000	△6.5	15,800	△9.8

(注) 2018年11月8日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。

2. 当期の個別売上高・収益の通期予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	107,000	△2.0	17,700	△12.3	18,500	△10.2	13,400	△14.7

(注) 2018年11月8日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。

3. 当期の連結受注高・売上高の通期予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高	売上高
	通期予想	通期予想
ロボットソリューション	108,000	108,000
マシンツール	15,000	14,000
その他	2,000	2,000
合計	125,000	124,000

(注) 2018年11月8日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。

4. 当期の主な科目の通期予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	通期予想
設備投資額	12,100
減価償却実施額	5,800
研究開発費	8,300

(注) 2018年11月8日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。